

『生化学検査』

生化学検査は血液や尿などに含まれているタンパクや酵素、脂質や糖、ミネラルなどの化学物質を測定します。これらの化学物質は健康状態の指標として、病気の診断や経過、予後の判定に大変重要な意味を持っています。

検査項目	基準値	臨床的意義	検査項目	基準値	臨床的意義
NH ₃ (アンモニア)	12~66 μg/dL	肝機能低下で高値になる	TG (中性脂肪)	Ⓜ40~234mg/dL	動脈硬化、糖尿病で高値
血糖(空腹時)	73~109 mg/dL	糖尿病で高値になる		Ⓜ30~117mg/dL	
HbA1c (NGSP) (ヘモグロビンA1c)	4.9~6.0 %	糖尿病治療・経過に有用 2・3ヶ月間の糖状態指標	T-C h o (総コレステロール)	142~248mg/dL	動脈硬化や肝・胆疾患診断 脂質代謝異常の指標
TP (総タンパク)	6.6~8.1 g/dL	栄養状態の指標で肝・腎 の障害などで異常になる	HDL-C h o (善玉コレステロール)	Ⓜ38~90 mg/dL Ⓜ48~103 mg/dL	各種動脈硬化などの指標
ALB (アルブミン)	4.1~5.1 g/dL	栄養状態低下で低値	LDL-C h o (悪玉コレステロール)	65~163 mg/dL	各種動脈硬化などの指標
CK (クレアチンホスホキナーゼ)	Ⓜ59~248 U/L	心筋梗塞・筋疾患や激し い運動後で高値になる	Na (ナトリウム)	138~145 mmol/L	体液中のイオン濃度を測、 定しバランスの崩れを調 べる。腎機能異常で変動
	Ⓜ41~153 U/L		K (カリウム)	3.6~4.8 mmol/L	
CK-MB (MB分画)	≤12 U/L	心筋梗塞で高値になる	Cl (クロール)	101~108 mmol/L	
AST (GOT)	13~30 U/L	肝炎などの肝障害で高値 になる	Mg (マグネシウム)	1.7~2.6 mg/dL	慢性腎不全、甲状腺機能 低下などで高値
ALT (GPT)	Ⓜ10~42U/L Ⓜ7~23U/L		Ca (カルシウム)	8.8~10.1 mg/dL	骨組織に多く含まれ、骨 ・内分泌疾患で変動する
LD (ラクトデヒドロゲナ)	124~222 U/L	肝・心臓・血液疾患で高値	IP (無機リン)	2.7~4.6 mg/dL	主に鉄欠乏性貧血で低値 日内変動大きく注意必要
ALP (アルカリホスファ)	38~113 U/L	骨・肝・胆道疾患で高値	Fe (鉄)	40~188 μg/dL	
γ-GT (ガンマグロトアミルトランス)	Ⓜ13~64 U/L	肝・胆道疾患やアルコー ル性肝障害で高値になる	UIBC (不飽和鉄結合)	Ⓜ111~255 μg/dL Ⓜ137~325 μg/dL	鉄欠乏貧血で高値になる
	Ⓜ9~32U/L		T-B i l (総ビリルビン)	0.4~1.5 mg/dL	肝・胆道系の障害の指標 黄疸で高値になる
ChE (コリンエステラーゼ)	Ⓜ240~486U/L Ⓜ201~421U/L	肝障害や薬剤の影響で低 値になる	D-B i l (直接ビリルビン)	0.1~0.3 mg/dL	肝・胆道系の障害の指標
LAP (ロイシンアミノペプチ)	30~70 U/L	肝・胆道障害で高値	C 3	73~138 mg/dL	補体成分の一種で急性糸 球体腎炎、SLEで低値
AMY (アミラーゼ)	44~132 U/L	膵・唾液腺等疾患で高値			
UAMY (尿アミラーゼ)	50~500 U/L	急性・慢性膵炎等で高値	C 4	11~31 mg/dL	糸球体腎炎、ループス腎炎 など腎機能低下で高値
LIPA (リパーゼ)	7~60 U/L	急性・慢性膵炎高値、ウイ ルス性肝炎・膵がん低値			
CRE (クレアチニン)	Ⓜ0.65~1.07 mg/dL	腎機能状態の指標になる	β 2 MG (ヘパ ツマイクログロブリン)	1.0~2.0 mg/L	腎障害などで高値になる
	Ⓜ0.46~0.79 mg/dL		尿中 β 2 MG	≤308 μg/L	
UA (尿酸)	Ⓜ3.7~7.8 mg/dL Ⓜ2.6~5.5 mg/dL	痛風や腎機能の障害で高 値になる	ミオグロビン	≤70 ng/mL	心筋梗塞、筋炎等で高値
UN (尿素窒素)	8~20 mg/dL	腎機能の悪化で高値	FER (フェリチン)	Ⓜ13~277 ng/mL	貯蔵鉄の指標、各種 血液疾患で異常値
CRP (C反応性タンパク)	0.00~0.14 mg/dL	炎症性疾患や感染症 などで高値になる		Ⓜ5~152 ng/mL	

『血液検査』

血液球の細胞成分である血球数や血球の形態を調べる血液検査と、出血や止血に関わる因子を調べる凝固・線溶系検査があります。

検査項目	基準値	臨床的意義	検査項目	基準値	臨床的意義
WBC (白血球数)	3300~8600 / μ L	炎症、血液疾患の鑑別	機器 Ba (好塩基球)	Ⓜ0.2~1.8 % Ⓜ0.2~2.0 %	アレルギー疾患など
RBC (赤血球数)	Ⓜ435~555 万/ μ L Ⓜ386~492 万/ μ L	貧血や赤血球増加症の指標	機器 Mo (単球)	Ⓜ3.1~8.0 % Ⓜ2.7~7.6 %	感染症、造血回復期など
Hgb (ヘモグロビン)	Ⓜ13.7~16.8 g/dL Ⓜ11.6~14.8 g/dL		機器 Ly (リンパ球)	Ⓜ21.2~51.0 % Ⓜ21.3~50.2 %	ウイルス感染症など
Hct (ヘマトクリット)	Ⓜ40.7~50.1 % Ⓜ35.1~44.4 %		APTT(活性化部分トロンボプラスチン)	26.9~38.1 秒	内因系凝固反応を反映
PLT (血小板数)	158~348 千/ μ L		出血傾向の鑑別	PT (プロトロンビン) PT (INR)	73~118 % 0.85~1.15
網赤血球数	Ⓜ0.67~1.92 % Ⓜ0.59~2.07 %	造血能の指標	Fbg (フィブリノーゲン)	200~400 mg/dL	炎症や出血傾向
機器 Nt (好中球)	Ⓜ41.2~74.7 % Ⓜ38.3~71.1 %	細菌感染症など	FDP	≤5.0 μ g/mL	線溶系の状態把握
機器 Eo (好酸球)	Ⓜ0.2~8.4 % Ⓜ0.2~8.3 %	アレルギー疾患など	DD (Dダイマー)	≤1.0 μ g/mL	血栓、線溶の指標
			AT (アンチトロンビン)	80~130 %	凝固抑制物質

『免疫血清検査・その他の検査』

血液中の抗原や抗体を検査することにより病原菌やウイルスの特定をします。肝炎の検査や血液中に含まれている免疫学的に重要な化学物質の検査をこの部門で行います。

検査項目	基準値	臨床的意義	検査項目	基準値	臨床的意義
BNP	≤18.4 pg/mL	心不全で高値になる	I g G	861~1747 mg/dL	これらは免疫グロブリンで、体内の防御機構を行う。肝炎や感染症、膠原病などで高値になる
トロポニン I 定量	≤26.2 pg/mL	心筋梗塞で高値になる	I g A	93~393 mg/dL	
T S H (甲状腺刺激)	0.61~4.23 mIU/L	甲状腺機能の指標	I g M	Ⓜ33~183 mg/dL Ⓜ50~269 mg/dL	
F T 3 (甲状腺ホルモン)	1.68~3.67 pg/mL		I g E	≤361 IU/mL	アレルギーで高値になる
F T 4 (甲状腺ホルモン)	0.70~1.48 ng/dL		K L -6	≤500 U/mL	間質性肺炎で高値
I R I (インスリン) (空腹時)	5~10 μ IU/mL	糖尿病で低値になる	R F (リウマチ因子)	≤15 IU/mL	関節リウマチで高値
C ペプチド	0.78~5.19ng/mL	インスリン分泌を反映	R P R	(-)	陽性で梅毒感染を疑う
C E A (癌胎児性)	≤5.0 ng/mL	各消化器がんで高値	T P 抗体	(-)	
A F P (α フェトプロテイン)	≤10.0 ng/mL	肝癌、肝硬変で高値	H B s 抗原	(-)	B型肝炎感染で陽性
C A 1 9 - 9 (糖鎖)	≤37.0 U/mL	膵、胆管がんで高値	H C V 抗体	(-)	C型肝炎感染で陽性
P S A (前立腺特異抗原)	≤4.000 ng/mL	前立腺がん、前立腺肥大症などで高値になる	H T L V - I	(-)	成人T細胞白血病の病原ウイルスの感染で陽性
シフラ	≤2.1 ng/ml	肺癌で高値	H I V 抗原抗体	(-)	ヒト免疫不全ウイルス感染で陽性になる
			可溶性 I L 2 R (sIL-2レセプター)	204~587U/mL	悪性リンパ腫で高値

※ 上記検査値は日によって変動します。また、基準範囲から外れた場合は当院医師にご相談下さい。

『尿検査』

検査項目	基準値
尿蛋白	(-)
尿糖	(-)
尿比重	1.005~1.030
尿 pH	5.0~7.5
ウロビリノーゲン	(±)
ビリルビン	(-)
ケトン体	(-)
白血球	(-)
亜硝酸塩	(-)
尿潜血	(-)